

園藝曆

(七月 文月)
(八月 葉月)

大 岩 金

七 月

氣 節		半夏生
小 暑	土 用	大 暑
三日頃	八日頃	廿日頃
		廿四日頃

観 賞

鬱陶しい梅雨も中旬になると大抵は明けまして後はすっかり夏の気分になつて参ります。

觀賞の方面におきましては朝寢坊を誘ひ起す色とりどりの朝顔を初め晝間のルコウサウ、マツバボタン、見るからに涼味たつぷりの睡蓮、夕方の月見草、夕顔、オシロイバ

ナなど各々その開化の時刻を異にして居りますものもあり又日を遡つてまはるヒマハリ、丸い葉に銀滴をおいて子供達に興がらせる金蓮花、花形、の面白いキンギョサウ、或はムギワラギク、シヤスターデージー、エゾギク、クジャクサウ、萬壽菊、昇藤、ランタナ、ダリーヤ、緑濃い木立の下の山百合、谷間の姫百合、車百合などなか／＼に賞でる草花も澤山あります。又早略のキキヤウなども本月が見頃であり、裏庭に植えておいた菊芋にも黄な花が開きました。

仕 事

一、繁殖(挿木)

秋の花畑を賑はす爲のコリウス、アルタナンセラは地に下して充分に株がはり枝が茂つてきましたならばその芽を

摘んで挿木します。その外ベゴニアの葉挿、ゼラニウム
の露地挿などするのであります。

又縁取用の白丁花も伸びるにつれて刈り取つてはその先
をあまり強い日光の當らない所に數本づゝ一かためにして
挿しておきます。

二、日除

梅雨期に挿した常緑樹はまだ充分に發根して居りません
中に夏の強い光線を受けては活着し難いものでありますから
ヨシズの如きを日中はかけて日除してやる事が必要であり
ます。

草花類にありまして夏の日光の直射を嫌ふシダ類ベゴ
ニア類、アスパラガス、オモトなどは日除下におくなり、
半日蔭の所にまはすなりしなければなりません。

雪割草、福壽草なども前の仲間でありまして十月初め頃
までは半日蔭の所におきたいのであります。

三、その他の仕事

ダリーリヤの側芽摘みと花の間引

ダリーリヤの下の方の不用の側芽は摘み取り上の方に出来
た側芽を適當（十二三個）に残して是についた蕾はまた間

引してボン／＼咲のやうな花をつける種類の外は一花軸一
花とするのであります、その間引する花は花軸の短い蕾も
小さいものを取り除くのであります。

かく致しまして中旬頃までに一きり咲かせまして下旬にも
なりましたならば根本から數節残して一度軸を刈り取つて
來る秋花の準備をするのであります。

サルビヤ、コスモスの摘心

前月に引續き兩者共心及び側芽が數節伸びましたならば
二三葉残してその先を止めてやります、かく數回の摘心を行
ひます時は徒に丈のみを高くして下枝がなくなるなどの
事がなくて形の整つたものになります。

施肥と中耕

鉢作りの草花は日々々と乾き勝になります、灌水にお
こたりのないやうに、又折々は灌水に代へて施肥を致しま
す事は毎月變りはありません。

蔬菜類にありましては施肥に先だつて中耕をなしその後
で行ふのであります。

四、收穫

イ。採種

春咲草花で前月まだ採種してないものは適期をみては採種しておきませう。

木物にありましてはエニシダの實が黒くなりました、是も播種すればよく發芽しまして三ヶ月位になりますと餘程大きくなり花も若くやうになります。草物以上に木物の年と共に大きく／＼育ちゆくたのしみは又一通りではありません。

ロ、蔬菜

前月に引續きビートや廿日大根が收穫出來ます。

苦瓜やホホヅキの收穫も今月から始まり下旬になれば百合も收穫出來ます。

暑さにも平氣らしいトマト・ツルナ、フダンサウなど前に變らぬ收穫であります。

八月

八日頃

氣節 立秋

二十四日頃

觀賞

この暑さにはなんと申しましても睡蓮は觀賞の第一位であります、その外水に縁のある布袋草、蘭草類、秋盤の絹糸草等涼しい感じのするものであります、水草に次では葉物の觀賞でありませう、即ちシベラス、アスパラガス、風知草、ペゴニアオリヅラン等見時であります。木物としては蘇鐵、棕櫚竹などであります。

次に焼けつくやうな土に生ひ茂る草花、是にも一通り目を通してやりませう、春播にしました多くの草花、百日草、千日紅、孔雀草、美女櫻、フロツクス、コリウス、サルビヤ、カツコウアザミ、ツクバネアサガホ、矢車天人菊、狸々草、ホーセンカ、マツバボタン、ランタナ、その外前月から引續いて咲いて居ります草花の数々であります。

仕事

一、繁殖

イ、播種と植込

早春に咲かせます三色堇やシネラリヤや西洋櫻草種の種

子は今月の中旬に播かなければなりません。

オサザリヌの球根も鉢に埋めておきませう。是は他の球根類よりも早く發芽するやうであります。そして今月に播種しましたものはまだ／＼暑さの折からでありますから充分に灌水に注意し強光線と水分の蒸發を防ぐために播種鉢の上にはスリガラスを覆つておく方がよいのであります。

ロ、芽接

木物や果樹類の芽接の時期であります。

ハ、挿木

草花類のヘリオトロープ、アルタナンセラ、サルビヤ、コスモス等尙今月も挿木してよいのであります。が丁度夏休みの季でありますので今月必ずしなければならぬ仕事でもありませんから中止してもよいのであります。

二、其の他の仕事

菊の手入

大、中、小菊を問はず鉢作りにしても花壇作りにしても菊らしい菊はお休みのある幼稚園生活では作られませんが素に挿し幼児達に喜ばれる位の花はさまで手をかけなくとも作られます。春先の芽分について後數回の摘心、或

は側芽摘、蚜蟲取り、施肥など致しますれば、かくて今月の中旬にもなりましたならば最後の摘心を行つて以後は蕾の出るのをまつのであります。

日除と灌水

前月と同様の方法で行へばよいのであります。

三、收穫

イ、採種

金蓮花の種子が澤山熟す頃です、地に落ちては容易に發芽してしまひます、注意して落ちないうちに採りませう、

その外マツバボタン、フロックス、など氣のついたものは時を逸せず採種しておかなければなりません。

ロ、蔬菜

トホモロコシの實もよく出來ました。見て美味さうなレイジ、筆の先のやうな茗荷の子、赤い葉や青い葉の紫蘇など毎日收穫が出來ます、